



きらきらと太陽が照りつける夏がやってきました。こども園では、プール遊びが始まっています。今回は、こども園でプールに入れる病気と入れない病気をご紹介します。



伝染性軟属腫（水いぼ）

水いぼは、水いぼをひっかいた手で体の別の場所を触ることで、広がります。

プールの水では感染しないので、プールには入れます。

ただし、皮膚と皮膚が接触することで他のお子さんに感染する可能性があります。

プールに入る時は、服やラッシュガードを着て水いぼの部分をおおないようにしましょう。



伝染性膿痂疹（とびひ）

とびひは、かさぶたや虫刺されなどをひっかくことで、患部から離れた皮膚に広がります。

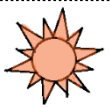
塗り薬で処置し、浸出液が染み出ないように服や包帯などで覆ってあれば、通園はできます。

プールの水を介しては感染しませんが、接触することで他のお子さんにうつることがあります。

プールでの水遊びは完全に治るまでやめましょう。



こども家庭庁「保育所における感染症対策ガイドライン」より一部抜粋



ホクナリンテープ（経皮吸収型気管支拡張剤）を貼っている場合

ホクナリンテープを貼って治療しているお子さんは、体調が回復するまでプールはやめましょう。